



HOTEL MONTOVIEW YONEZAWA

ホテルモントビュー米沢をご利用いただきまして

誠にありがとうございます。

どうぞごゆっくりおくつろぎ下さいませ。

WELCOME TO HOTEL MONTOVIEW YONEZAWA.

IT IS OUR GREAT PLEASURE TO SERVE YOU.

PLEASE RELAX AND BE FREE TO ASK ANYTHING

YOU WANT WHILE YOU ARE WITH US.

ホテル モントビュー 米沢

■ チェック イン タイム
CHECK IN TIME

3:00 P.M.

■ チェック アウト タイム
CHECK OUT TIME

10:00 A.M.

- チェックアウトタイムを過ぎてお部屋をご使用の場合は、フロントまでご連絡ください。但し、規定の追加料金を頂戴いたします。

■ ご 朝 食
BREAKFAST

6:30A.M.~9:30A.M. (Last Entry 9:00A.M.)

4 F レストラン

Z A O - 蔵王 -

Restaurant "Z A O" on the 4th floor.

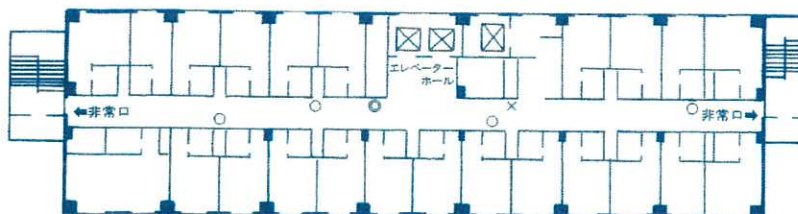
- お好みの料理をお選びください。
お待ちいたしております。

■ 非常の場合
EMERGENCY

- お部屋にご到着されましたら、非常口の位置、避難経路のご確認をお願いいたします。
To check the locations of the emergency route and exits, as posted in your room.

客室標準配置図(5F~8F)

Standard Floor Plan of Guest Rooms (5F~8F)



- × / 火災報知機 Fire Alarm
- ➡ / 非常口 Fire Exit
- ◎ / 消火栓(火災報知機付) Fire Alarm
- / 消火器 Fire Extinguisher
- / あなたのお部屋 Your Room
- ☒ / エレベーター Elevator

- 非常の際は至急フロント(ダイヤル③)にお知らせの上、ホテル従業員の指示に従って下さい。
- 防災設備には万全を期しておりますが念のためお近くの非常口をご確認下さい。
- ベッドでの寝タバコは危険ですからご遠慮下さい。

- In case of fire or other emergencies, please notify the Front Desk by Dial ③. Employees' instruction will be obeyed by patrons in case of emergency.
- To check the locations of the emergency route and exits, perfect security measures.
- No Smoking in Bed.

当ホテルの建物は完全な耐震、耐火構造となっており、また防火施設も完備され、防火防犯の体制も昼夜を問わず万全を期しておりますので、ご安心してお過ごし頂けます。

Our hotel is built completely fire-and-quake-proof and also we have set up a perfect security measures in order to assure you safety, comfort and pleasure day and night. So please feel at home in this hotel.

サービスのご案内

SERVICE INFORMATION



■フロントサービス ダイヤル③

- お問い合わせ
- お部屋の延長
- 非常時
- 遺失物

FRONT SERVICE DIAL③

- Information
- Extension of stay
- Emergency
- Lost & Found



■市内外通話

市内・市外とも直通です。はじめに0を回し、発信音が聞こえてからおかけ下さい。

TELEPHONE

You can make direct calls both within the city and long distance. Please dial 0 before dialing the numbers.



■客室から客室へ

お部屋からお部屋へお電話する場合、そのままお部屋番号を回して下さい。

ROOM TO ROOM CALL

Please dial the room number.



■国際電話

交換台を通さずに、お部屋の電話機からダイヤル直通でおかけ下さい。

OVERSEAS TELEPHONE CALL

You may make overseas calls by direct dialing from your room telephone.



■お部屋の鍵

ご出発の際フロントにお返し下さい。又外出の際はフロントにお預け下さい。

鍵をお受け取りになる時には防犯のため、フロント係員にお部屋番号と同時に名前もお知らせ下さい。

ROOM KEY

Please leave your room key at the front desk when going out. When you ask for your room key, Please give your name and room number to the clerk for security purposes.



■貴重品

貴重品は、フロントにお預け下さい。それ以外の場所では責任を負いかねます。

VALUABLES

Please deposit your valuables with the front cashier otherwise the management will not be responsible for any loss.



■マッサージ ダイヤル③

フロントにお申し付け下さい。
営業時間 7:00P.M.~10:30P.M.

MASSAGE DIAL③

Please ask at the front desk.
Service hours 7:00PM~10:30PM



■ビジネスサービス

ファクシミリ・コピーはフロントにご用意してございます。

BUSINESS SERVICE

Facsimile. Recopy are available at the front desk.

サービスのご案内

SERVICE INFORMATION



■コインランドリー

5階の自動販売機コーナーに設置してございます。
営業時間 8:00A.M.~11:00P.M.
洗剤はフロントで販売しております。

COIN LAUNDRY

5F Vending machine corner.
Service hours 8:00A.M.~11:00P.M.
I sell the detergent at the front desk.



■お洗濯物

恐れ入りますがランドリー袋に入れて、4階フロントにお持ち願います。ランドリー袋は机の中に入っております。

LAUNDRY & PRESSING

Laundry facilities are available through the front desk. Laundry bag is in the writing desk.



■自動販売機

ジュース、ビール、ウイスキー、おつまみ、製氷機等は5階・7階の自動販売機をご利用下さい。タバコの自動販売機は4階にございます。

VENDER

5F, 7F Vending machine corner.
Drinks and snack. Ice cube.
Cigarette vender is 4th floor.



■モーニングコール

フロント（ダイヤル③）にご希望の時刻をお伝え下さい。

Please tell the time you want to wake up to the front desk. (Dial③)



■ズボンプレスサー

フロントにご用意しております。

TROUSERS PRESSED

Please available at the front desk.



■タクシー

フロント（ダイヤル③）にお問い合わせ下さい。

TAXI

Please ask at the front desk.
(Dial③)



■交通案内・時刻表

フロント（ダイヤル③）におたずね下さい。

TRAFFIC GUIDE・TIME TABLE

Please ask at the front desk.
(Dial③)



■宅配便

フロントにて承ります。

DELIVERY SERVICE

Please ask at the front desk.



■一時預り

フロントにてお預りいたします。
(無料)

CLOAK SERVICE

Please ask at the front desk.
(Free of charge)

利用規則 Use Regulations

当ホテルでは、お客様に安全でかつ快適なご滞在をいただくため、宿泊約款第10条の定めに基づき下記の規則をお守りいただくことになっております。
この規則をお守りいただけない時には、宿泊約款第7条によりご宿泊のご継続をおことわりさせていただきます。

- (1)客室をご宿泊以外の目的でご利用されることは堅くお断りいたします。
- (2)宿泊登録者以外の方のご宿泊は、堅くお断りいたします。
- (3)部屋にご到着なさいましたら、非常口の位置、避難経路のご確認をお願いいたします。
- (4)火災になりやすい場所（特にベッドの上）での喫煙はなさないで下さい。
- (5)客室内に暖房用、炊事用などの火器およびアイロンなどを持ち込みご使用にならないで下さい。
- (6)ご滞在中、お部屋から出られる際は、客室鍵を必ず、お持ちになり、施錠をご確認下さい。
- (7)ご在室中およびご就寝のときは、ドアの内鍵とドア・チェーンを必ずかけて下さい。
- (8)来訪者があったときは、ドア・チェーンをかけたままドアを開けてご確認下さい。不審者と思われる場合はフロント（ダイヤル③）まで、ご連絡下さい。
- (9)ご訪問者と客室内でのご面会は、ご遠慮下さい。
- (10)廊下やロビー等に所持品を放置なさないで下さい。
- (11)館内および客室内の備品を所定の場所からみだりに、移動なさないで下さい。
- (12)館内および客室内の現状をホテルの許可なく変更するような加工はなさないで下さい。
- (13)館内に次のようなものをお持込みにならないで下さい。
イ、愛玩の動物、鳥類等（但し、盲導犬は除く）
ロ、悪臭を発するもの
ハ、常識的な量をこえる物品
ニ、許可証のない銃砲、刀剣類
ホ、発火又は引火しやすい火薬、揮発油、油類等
- (14)館内および客室内で高声、放歌および喧騒な行為、その他で他人に嫌悪感を与えたり、迷惑をおよぼしたりしないで下さい。
- (15)館内および客室内でとばくや公序良俗に反する行為をなさないで下さい。
- (16)館内および客室内で許可なくして他のお客様に広告物の配布や物品の販売などをなさないで下さい。
- (17)ホテルの外観をそこなうような品物を窓側に置いたり掛けたりしないで下さい。
- (18)ホテル外からの飲食物の出前をとらないで下さい。
- (19)窓の施錠を操作して開放しないで下さい。
- (20)お子様には充分気をお配り下さい。
- (21)客室内よりお電話をご利用の際は施設利用料が加算されますのでご了承下さい。
- (22)宿泊客が心神耗弱、薬品等による自己喪失など宿泊しようとする者の安全確保が困難であったり、他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められるときご利用をお断りします。
- (23)現金、貴重品等は、フロント会計の金庫へお預け下さい。室内における紛失、盗難等につきましてはホテルは責任を負いかねる場合もあります。

In order to insure our guests a secure and pleasant stay, we have set this Use Regulations for use of our facilities in accordance with Article 10 of Accommodation Contract. In case one of the following regulations is violated by a certain guest, his or her stay will be discontinued regardless of the previous reservation in accordance with Article 7 of Accommodation Contract.

Guests are requested to observe the following rules:

- (1)Do not use the guest room for purposes other than sleeping.
- (2)Guests who are not registered are not allowed to stay at the hotel.
- (3)To check the locations of the emergency route and exits, as posted in your room.
- (4)Refrain from smoking at spots likely to cause a fire (especially in bed).
- (5)Refrain from using equipment for heating, cooking or ironing in the room.
- (6)When leaving the room, please be sure to lock the door and bring the Key with you.
- (7)When in the room or in bed, please lock the door and fasten the door chain for maximum safety.
- (8)Do not admit unknown visitors into the room, when in doubt, please contact the front Desk by your room telephone.(Dial③)
- (9)Do not bring unregistered guest in your room.
- (10)Do not leave your belongings in the hall way or other public areas.
- (11)Do not move furniture from fixed position within the hotel.
- (12)Do not alter or rearrange the fixtures in the room without authorization of hotel officials.
- (13)Do not bring into the hotel any of the following.
 - a. Animals, birds or any kinds (except guide dog)
 - b. Things likely to cause bad odor
 - c. A substantial quantity of goods
 - d. Unregistered firearms or swords, or other articles the possession of which is prohibited by local laws.
 - e. Explosives or inflammables
- (14)Do not annoy other guests by making loud noises in your room or in the hallways.
- (15)Do not gamble in the hotel and commit any offense against public decency or public order.
- (16)Do not use the hotel for soliciting business of any type unless specially authorized.
- (17)Do not display anything on the window.
- (18)Do not order dishes and drinks from outside of the hotel.
- (19)Do not attempt to open windows.
- (20)You are requested to take special care of your children.
- (21)When the phone in the room is used, an additional fee is charged.
- (22)Guests are not allowed to use the accommodations when they appear likely to conduct themselves in a disorderly manner, or when they annoy other guests by their unethical or unusual behavior.
- (23)Deposit money and valuables in the safe of the front office. The hotel is not responsible for loss or robbery of valuables left in your room.



宿泊約款

- (適用範囲)
- 第1条** 当ホテルがお客様との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この契約に定める事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
- 2 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。
- (宿泊契約の申込み)
- 第2条** 当ホテルに宿泊契約の申込みをなさろうとするお客様は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
- 宿泊者名
 - 宿泊日及び到着予定時刻
 - 宿泊料金(原則として別表第1の基本宿泊料による。)
 - その他当ホテルが必要と認める事項
- 2 お客様が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。
- (宿泊契約の成立等)
- 第3条** 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間(3日を超えないときは3日間)の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金は、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 3 申込金は、まず、お客様が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定により料金の支払いの際に返還します。
- 4 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨をお客様に告知した場合には限りません。
- (申込金の支払いを要しないこととする特約)
- 第4条** 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 2 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。
- (宿泊契約締結の拒否)
- 第5条** 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
- 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
 - 満室により客室の余裕がないとき。
 - 宿泊しようとする方が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき。
 - 宿泊しようとする方が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同条第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
 - 宿泊しようとする方が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - 宿泊しようとする方が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - 宿泊しようとする方が当ホテルもしくは当ホテル従業員に対し、暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求を行い、あるいは合理的範囲を超える負担を要求したとき、又はかつて同様な行為を行ったと認められるとき。
 - 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - 宿泊しようとする方が泥酔し、又は言動が著しく異常で、他の宿泊者に迷惑を及ぼす恐れがあると認められるとき、又は他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき、及び都道府県条例の規定する場合に該当するとき。
 - 宿泊しようとする方が著しく不潔な身体又は服装をしているため、他の宿泊者に迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき。
- (宿泊客の契約解除権)
- 第6条** お客様は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解約することができます。
- 2 当ホテルは、お客様がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前にお客様が宿泊契約を解除したときを除きます。)、別表第2に掲げる場合により、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合には、その特約に応じたに当たり、当ホテルがお客様に告知したときに限ります。
- 3 当ホテルは、お客様が連絡をしないで宿泊日当日の午後10時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊されるお客様により解除されたものとみなし処理することがあります。
- (当ホテルの契約解除権)
- 第7条** 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
- お客様が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行行為をしたと認められるとき。
 - 宿泊されるお客様が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
 - 宿泊されるお客様が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - 宿泊されるお客様が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - 宿泊されるお客様が当ホテルもしくは当ホテル従業員に対し、暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求を行い、あるいは合理的範囲を超える負担を要求したとき、又はかつて同様な行為を行ったと認められるとき。
 - 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - 宿泊されるお客様が泥酔し、又は言動が著しく異常で、他の宿泊者に迷惑を及ぼす恐れがあると認められるとき、又は他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき、及びその他都道府県条例の規定する場合に該当するとき。
 - 喫煙等の禁煙施設、消防用設備等に対するいたすら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防法に必要なものに限る。)に従わないとき。
 - 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、お客様がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。
- (宿泊の登録)
- 第8条** お客様は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
- 宿泊者の氏名、年齢、性別、住所、連絡先電話番号及び職業
 - 外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - 出発日及び出発予定時刻
 - その他当ホテルが必要と認める事項
- 2 お客様が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを提示していただきます。

- (客室の使用時間)
- 第9条** お客様が当ホテルの客室を使用できる時間は、当日 時より翌日 時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
- 午後2時までは、室料金の30%相当額
 - 午後5時までは、室料金の50%
 - 午後5時以降は、室料金の全額
- (利用規則の遵守)
- 第10条** お客様は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。
- (営業時間)
- 第11条** 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等で御案内いたします。
- | | |
|--------------------|------|
| フロント・キャッシャー等サービス時間 | |
| イ 門限 正面玄関 | 24時間 |
| ロ フロント | 24時間 |
| ハ キャッシャー | 24時間 |
- 2 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。
- (料金の支払い)
- 第12条** お客様が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に掲げるところによります。
- 2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、お客様の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行わなければならないものとします。
- 3 当ホテルがお客様に客室を提供し、使用が可能になったのち、お客様が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。
- (当ホテルの責任)
- 第13条** 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行によりお客様に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
- 2 当ホテルは、防災施設の整備に努めるほか、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。
- (契約した客室の提供ができないときの取扱い)
- 第14条** 当ホテルは、お客様に契約した客室を提供できないときは、お客様の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料をお客様に支払い、その補償料は損害賠償額に充當します。ただし、客室が提供できないことについて当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。
- (寄託物等の取扱い)
- 第15条** お客様がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の申告を求めた場合であって、お客様がそれを行わなかったときは、当ホテルは15万円を限度としてその損害を賠償します。
- 2 宿泊客が、当ホテルにお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の申告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。
- (宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)
- 第16条** お客様の手荷物、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、お客様がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
- 2 お客様がチェックアウトしたのち、お客様の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられている場合において、当ホテルは原則として所有者からの照会の連絡を待ちその指示を求めます。所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、貴重品については発見日を定め7日以内に最寄りの警察署に届け、その他の物品については3箇月経過後処分いたします。ただし、衛生環境を損なう飲食物、たばこ、雑誌等は即日処分します。
- 3 前2項の場合におけるお客様の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準ずるものとします。
- (客室の清掃)
- 第17条** お客様が2泊以上連続して同一の客室に宿泊する場合、当該客室の清掃は原則として毎日行います。
- 2 お客様から清掃不要である旨の要望を受けた場合であっても、衛生環境保全のため、3日経過ごとに1回清掃を行います。ただし当ホテルが必要と認める場合には、随時客室清掃を実施できるものとします。
- 3 前項の客室清掃について、宿泊者はこれを拒否できないものとします(コンピューター通信)
- 第18条** 当ホテル内においてコンピューター通信の利用に当たっては、利用者自身の責任において行うものとします。コンピューター通信利用中のシステム障害その他の理由によりサービスが中断し、その結果、利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルは一切の責任を負いません。
- 2 コンピューター通信の利用に際し当ホテルが不適切と判断した行為により、当ホテル及び第三者に損害が見込まれる場合また実際に生じた場合は、当該サービスの利用中止を求め、生じた損害については賠償していただきます。
- (駐車場の責任)
- 第19条** お客様が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。
- (宿泊客の責任)
- 第20条** お客様の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該お客様は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。
- (準拠法)
- 第21条** 当ホテルとお客様の宿泊契約に関しては日本法を準拠法とし、当ホテルの所在する地を管轄する地方裁判所を専属合意管轄裁判所とします。



HOTEL MONTVIEW
YONEZAWA

Terms and Conditions for Accommodation Contract

(Scope of Application)

Article 1

The Accommodation Contract and related contracts to be concluded between our Hotel and the Guest shall be based on this Contract under the following terms and conditions of our Contract, and any matter not stipulated in this Contract shall be governed by ordinance and generally established practices.

2. When our Hotel has agreed to conclude a Special Contract that does not conflict with ordinance and established practices, the said Special Contract shall prevail.

(Application for an Accommodation Contract)

Article 2

The Guest who intends to apply to our Hotel for an Accommodation Contract will be required to provide our Hotel with the following particulars:

- (1) Name (s) of Guest (s) to be registered
- (2) Date (s) scheduled for overnight stay and estimated time of arrival
- (3) Accommodation charge (according, in principle, to the basic accommodation charges described in the separate Schedule 1)
- (4) Any other information considered necessary by our Hotel.

2. In the case that the Guest has requested, during his/her stay, an extension of an overnight stay beyond the date described in the preceding paragraph (2) above, our Hotel shall handle his/her request as a new application for an Accommodation Contract which has been made at the point in time when the said request has been made.

(Conclusion, etc. of the Accommodation Contract)

Article 3

The Accommodation Contract shall be considered to have been concluded at the time when our Hotel has accepted the application described in the preceding Article.

However, if our Hotel has certified that our Hotel did not accept the said application, this shall not apply.

2. When the Accommodation Contract has been concluded under the provision of the preceding Paragraph, the Application Money payable for the period scheduled for overnight stay as prescribed by our Hotel shall be paid by the date set by us, up to the maximum amount equal to the basic accommodation charge for 3 days in cases where the period scheduled for overnight stay exceeds 3 days.

3. The Application Money shall first be applied of the final payment of the Accommodation Charge payable and when the circumstances in Article 6 or Article 18 have arisen, to penalties and then to compensation money in this order. If there is any balance left it will be repaid at the time when the Accommodation Charge is paid as provided in Article 12.

4. In the case that the Application Money described in Paragraph 2 of this Article has not been paid by the date set by us as stipulated in the same Paragraph, the Accommodation Contract shall become invalid. However this will be limited only to the case where our Hotel has notified the Guest to that effect at the time when prescribing the day due for payment of the Application Money.

(Special Contract Requiring Non-Payment of the Application Money)

Article 4

Notwithstanding the provision of the preceding Article, Paragraph 2, there are cases where our Hotel may accept a Special Contract which does not require payment of the Application Money specified in the said Paragraph after the conclusion of the Contract.

2. When accepting an application for Accommodation Contract, in the case that our Hotel fails to request payment of the Application Money specified in the preceding Article, Paragraph 2, and/or in the case that it fails to prescribe the due date for payment of the said Application Money, the Special Contract described in the preceding Paragraph shall be considered to have been accepted.

(Refusal of the Conclusion of the Accommodation Contract)

Article 5

The following are cases where our Hotel will not accept the conclusion of the Accommodation Contract.

- (1) When application for accommodation is not based on this Contract.
- (2) When there is no room available due to full occupancy.
- (3) When the Guest seeking accommodation is considered likely to behave in violation of the provision of the ordinance, public order or good public morals.
- (4) When a guest seeking to apply for accommodation is considered to be one of any of the following groups listed from (a) through to (c):
 - (a) A designated organized crime group as described in Article 2, Paragraph 2 of the "Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Member" (Act No. 77 of 1991), a member of an organized crime group as described in Article 2, Paragraph 6 of the same law, an associate member of an organized crime group, a related party or any other anti-social forces.
 - (b) A corporate body or other organization under the control of an organized crime group or its members.
 - (c) A corporate body with a board member who is a member of an organized crime group.
- (5) When the person who seeks to apply for accommodation commits words or actions that cause extreme duress for other guests.
- (6) When the Guest seeking accommodation is clearly considered to be a patient with an infectious disease.
- (7) When the person who seeks to apply for the accommodation commits violence, threatening, blackmail or overbearing undue claims against the institution or the staffs working for the institution, or is admitted to commit similar acts.
- (8) When an act of God, trouble or facilities or other unavoidable causes prevent the Guest from staying at our Hotel.
- (9) When the person who seeks to apply for accommodation is considered to be heavily intoxicated, or whose words or actions are extremely abnormal, and considered likely to be a nuisance to other guests, or when the person's words and actions cause a nuisance to other guests, or when prefectural ordinances apply.
- (10) When the person who seeks to apply for accommodation is of extremely disheveled appearance or wearing inappropriate clothing which is considered likely to cause a nuisance to other guests.

(The Guest's Right to Cancel the Contract)

Article 6

The Guest may request our Hotel to cancel the Accommodation Contract.

2. In the case that the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes attributable to him/her (which is the case when our Hotel has requested payment of the Application Money by prescribing the date due for such payment under the provision of Article 3, Paragraph 2, except in the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract prior to such payment), payment of penalties shall be required as specified in the separate Schedule 2. However, in the case that our Hotel has accepted a Special Contract described in Article 4, Paragraph 1, this provision shall be applied only to the case where our Hotel has notified the Guest of his/her responsibility to pay a penalty for cancellation on the Contract when accepting the Special Contract.

3. In the case that the Guest does not arrive by 10 p.m. on the day of an overnight stay without informing our Hotel of a delay (or after the lapse of 2 hours past the scheduled time of arrival if indicated by the Guest beforehand), the Accommodation Contract concerned may be considered to have been cancelled by the Guest and will be handled accordingly.

(The Right of Our Hotel to Cancel the Contract)

Article 7

The following are cases where our Hotel may cancel the Accommodation Contract:

- (1) When the guest is considered likely to behave in violation of the provisions of the ordinance, public order or good public morals, or he/she is considered to have behaved in such a manner.
- (2) When the guest is considered to be one of the following from (a) through to (c):
 - (a) An organized crime group, a member of an organized crime group, an associate of an organized crime group, relevant party, or any other anti-social forces.
 - (b) A corporate body or other organization under the control of an organized crime group or its members.
 - (c) A corporate body with a board member who is a member of an organized crime group.
- (3) When the Guest commits words or actions that cause extreme duress for other guests.
- (4) When the Guest is clearly considered to be a patient with an infectious disease.
- (5) When the Guest commits an act of violence, threatening, blackmail or overbearing undue claims against the institution or the staffs working for the institution, or requires the hotel to bear the unreasonable burdens regarding the accommodation, or is admitted to commit any similar acts.
- (6) When an act of God, trouble with facilities, or other unavoidable causes prevent the Guest from staying at our Hotel.
- (7) When the Guest is considered to be heavily intoxicated, or whose words or actions are extremely abnormal, and considered likely to be a nuisance to other guests, or when the person's words and actions cause a nuisance to other guests, or when prefectural ordinances apply.
- (8) When the Guest smokes in bed or vandalizes fire protection facilities, or does not comply with the matters prescribed by our Hotel (limited only to those matters necessary for fire prevention) among the rules of use prescribed by our Hotel.

2. In cases where our Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the provision of the preceding Paragraph, charges for accommodation service, etc. which have not yet been offered to the Guest shall not be receivable.

(Registration of Accommodation)

Article 8

The Guest will be required to register the following particulars at the front desk of our Hotel:

- (1) Name, age, sex, address, contact number and occupation of the Guest.

- (2) Nationality, passport number, port entered and date entered, in the case of all foreign guests

- (3) Scheduled date and time of departure

- (4) Other particulars considered necessary by our Hotel.

2. In the case the Guest intends to pay the charges described in Article 12 by using such means in place of currency such as travellers cheque, accommodation coupons, credit card, etc., he/she will be required to show them at the time of registration described in the preceding Paragraph.

(Time Allowed for Use of the Guest room)

Article 9

The time allowed for the Guest to use the guest room of our Hotel shall be from until of the following morning. However, when the Guest stays for more than one night in succession, the Guest may use the guest room all day except the day of arrival and the day of departure.

2. Notwithstanding the provision of the preceding Paragraph, there are cases where our Hotel may accept the use of the guest room in hours other than those specified in the preceding Paragraph, in which case an additional charge will be payable as specified below.

- (1) Up until 2p.m. 30% of the basic accommodation charges.
- (2) Up until 5p.m. 50% of the basic accommodation charges.
- (3) After 5p.m. 100% of the basic accommodation charges.

(Compliance with the Rules of Use of the Hotel)

Article 10

While staying in our Hotel, the Guest will be required to comply with the Rules of use posted inside our Hotel as prescribed by us.

(Business Hours)

Article 11

The business hours of the main facilities, etc. of the Hotel are as follows, and those of our other facilities, etc. shall be notified in detail by pamphlets as provided, notices displayed in each location, service directories in guest rooms and others.

- (1) Service hours for the Front desk/Cashier, etc.

(a) Lobby, Main entrance	24 hours
(b) Front desk	24 hours
(c) Cashier	24 hours

2. The business hours specified in the preceding paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes. In such cases, the Guest shall be informed by appropriate means.

(Payment of Charges)

Article 12

The breakdown of the accommodation charge, etc. payable by the Guest shall be as listed in the separate Schedule 1.

2. Payment of the accommodation charge, etc. described in the preceding Paragraph shall be made in currency or by other means acceptable by our Hotel, such as travellers cheque, accommodation coupon, credit card, etc., at the front desk at the time when the Guest departs from our Hotel or is charged by our Hotel.

3. In the case that the Guest has not stayed at our Hotel at his/her discretion even after we have offered the guest room to the Guest and made it available for him/her to use, the accommodation charge will still be charged.

(Responsibility of our Hotel)

Article 13

In the case that we have inflicted damage on the Guest in the course of fulfilling the Accommodation Contract and related Contracts, or in case of a breach of these Contracts, we shall compensate for the said damage. However, this shall not apply if said damage has been due to a cause not attributable to us.

2. Our Hotel shall carry out maintenance of disaster prevention facility equipment, and shall also be covered by Hotel Liability Insurance to cope with emergencies in the case of fire, etc.

(Handling of Situations where the Guest Room Contracted is Not Available)

Article 14

Should the guest room contracted for the Guest under the Accommodation Contract become unavailable for him/her, our Hotel shall try to offer accommodation facilities under the same conditions as the original Accommodation Contract as far as possible, subject to the consent of the Guest concerned.

2. Notwithstanding the provision of the preceding Paragraph, in cases where we are unable to offer other accommodation facilities to the Guest, we shall pay to him/her a compensation charge equivalent to a penalty, which will be applied to the amount of the compensable damage. However, in cases where there is no cause attributable to us for not being able to offer the guest room, we shall not pay the compensation charge.

(Handling of Checked Articles, etc.)

Article 15

When the articles, cash and/or valuables checked by the Guest at the front desk have been lost or damaged, our Hotel shall compensate for the damage unless the loss or damage has been caused by force de majeure. However, in the case of cash or valuables, if the Guest cannot clearly report the kind and value of such cash and valuables at our request, we shall compensate for the damage up to a maximum amount of 150,000 yen.

2. When the Guest has brought into our Hotel articles, cash and/or valuables but has not checked them at the front desk, we shall compensate for any loss or damage inflicted on them if caused intentionally or negligently on our part. However, if the Guest has not clearly reported to us beforehand the kind and value of such items lost or damaged, we shall compensate for the loss or damage up to a maximum amount of 150,000 yen unless we are intentionally or negligently responsible for such loss or damage.

(Custody of the Baggage or Personal Belongings of the Guest)

Article 16

When the baggage of the Guest has arrived at our Hotel prior to his/her arrival, our Hotel will keep it subject to our agreement given prior to its arrival, and will hand it to the Guest at the time when he/she checks in at the front desk.

2. In the case that the baggage or personal belongings of the Guest are found misplaced after he/she has checked out, as a rule, our Hotel shall wait for contact from the owner of such items to seek his/her instructions. However, when there are no instructions from the owner, or the owner has not been identified, values will be delivered to the nearest police station after 7 days have elapsed from when they have been found, and other items will be disposed of after 3 months have elapsed. However, perishable goods such as foods and drinks, cigarettes and magazines etc., shall be disposed of immediately.

3. The responsibility of our Hotel regarding the custody of the Guest's baggage or personal belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall conform to the provision of the preceding Article, Paragraph 1, in the case of Paragraph 1 of this Article, and to the provision of the preceding Article, Paragraph 2, in the case of the preceding Paragraph.

(Cleaning of the Rooms)

Article 17

When the Guest uses the same room continuously for more than two days, in principle said room shall be cleaned every day.

2. Regardless of whether an indication from the Guest has been received that cleaning is unnecessary or not, Cleaning will be carried out once every 3 days to maintain hygienic standards. However, in the case that our Hotel considers it necessary, cleaning of the rooms may be carried out at any time.

3. The cleaning of the rooms as described in the preceding Paragraph may not be refused by the Guest.

(Regarding the usage of Computer communications)

Article 18

The user shall assume responsibility for the usage of computer communications within our Hotel. Our Hotel accepts no responsibility for cases where the user suffers any loss or damage resulting from system crashes or service dropouts.

2. If the activities involving the usage of computer communications are considered to be inappropriate by our Hotel, including cases where we anticipate damages to our Hotel or a third party, or where said damage has occurred, we will request the suspension of the usage of the relevant services, and seek compensation for any damages caused.

(Responsibility for Parking)

Article 19

When the Guest uses the parking area of our Hotel, our Hotel only lends the parking area and does not assume responsibility for care and custody of the vehicle parked, regardless of whether or not our Hotel has been asked to keep the key to the vehicle. However our Hotel shall be liable for compensation if and when the vehicle parked is damaged intentionally or negligently by us while managing the parking area.

(Responsibility of the Guest)

Article 20

In the case that our Hotel has suffered damages due to the intention or fault of the Guest, the Guest will be required to compensate our Hotel for the said damages.

(Legal Jurisdiction)

Article 21

This Accommodation Contract entered into by the Guest and our Hotel is governed by Japanese Law, and is under the jurisdiction of the regional court that has jurisdiction over the area in which our Hotel is located.



宿泊料金
 Accommodation
 Charge

《別表 第1》

●内訳 Contents

基本料金 Basic Charge	① 基本宿泊料（室料） Basic Accommodation Charge
追加料金 Extra Charge	② 飲食代及びその他の利用料金 Meals / drinks and other expenses
税金 Tax	③ 諸 税 Government Tax

お支払い総額は①から③までの合計となります。
 Total amount due is the sum of ① to ③.

《別表 第2》

●違約金 Cancellation Charge

<div>取消し日 Cancellation Day</div> <div>申込み人数 Number of guests</div>		不泊 No show	当日 on the day	前日 1 day prior	6日前 6 days prior	20日前 20 days prior
一般 Individual	14名まで up to 14	100%	80%	20%		
	15～99名 15 to 99	100%	80%	40%	20%	10%
団体 Group	100名以上 100 or more	100%	100%	80%	30%	10%